

日本の“宝島”あまくさ

# ほんど

まちづくり協議会だより



平成21年2月1日発行  
Vol.2

## CONTENTS

- 1P 会長あいさつ
- 2P マップづくりが大詰め
- 3P 日本の宝島 “天草”づくり講演会
- 4P 視察研修レポート
- 5P おらが主役のまちづくり
- 6P～7P 本渡の振興会は『元気』ばい!
- 8P お知らせ

(表紙写真)  
 ・小学生料理教室【本渡北】  
 ・青壮年ソフトボール大会【 】  
 ・わんぱく炭焼き体験【宮地岳】  
 ・ふれあいしめ縄づくり【伊宇土】

## 「新年を迎え、更なる活動を」

本渡まちづくり協議会  
会長 中川竹治



皆様におかれましては、新しい年をお健やかに迎えましたこととお慶び申し上げます。平素は、それぞれの地区振興会の活動を通して、住み良いまちづくりを目指し、様々な事業を展開され成果を挙げられておられることに対し、心より敬意を表します。

いよいよ今年、合併して4年目に入ります。地域の特性を生かし、地域の皆さんが生き生きと輝き、住んで良かったと誇れるような地域を目指して、更なる活動を続けていかなければなりません。

今、世界的な金融危機と景気の後退により、この天草も疲弊しきつたところに、いまだかつて経験したことのない不況の大波が押し寄せてきており、厳しい経済状況の中で深刻な雇用不安が広がっています。

また、これまで考えられなかったような凶悪な犯罪や事件が毎日のように起こり、大人も子ども達も難問に直面している今日であります。厳しい状況は当分続くと思われませんが、「食の安全、安心」を確立し、自給率向上のための取り組み等々このピンチをチャンスと捉え、地方の時代に向かっ、この天草を再生させ、未来に引き継いでいかなければいけません。

私たちは自分の足元を、どれだけ知っているのでしょうか。明日へのヒントは、足元にある。足元を見つめ直し、これからの地域づくりに取り組んでまいりたいと思っております。

どんな道を歩むにせよ、地域の個性は住民自身の手で守られるものです。本年も、皆様のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ほんどのいま

平成21年1月1日現在  
(H.20.7.1との比較)

【本渡南】	男…4,500人 (-15)	計	女…5,181人 (+4)
9,681人 (-11)	世帯数…4,012 (+12)	高齢化率…25.19%	
【本渡北】	男…4,969人 (+33)	計	女…5,457人 (+8)
10,426人 (+41)	世帯数…4,303 (+12)	高齢化率…20.24%	
【龍場】	男…1,984人 (+12)	計	女…2,311人 (+18)
4,295人 (+30)	世帯数…1,672 (+4)	高齢化率…19.06%	
【伊宇土】	男…391人 (+1)	計	女…406人 (-3)
797人 (-2)	世帯数…272 (+1)	高齢化率…31.86%	
【志柿】	男…1,508人 (-11)	計	女…1,744人 (+9)
3,252人 (-2)	世帯数…1,231 (+6)	高齢化率…23.33%	
【下浦】	男…955人 (+1)	計	女…1,131人 (-5)
2,086人 (-4)	世帯数…774 (+4)	高齢化率…36.14%	
【楠浦】	男…1,274人 (+4)	計	女…1,425人 (-6)
2,699人 (-2)	世帯数…979 (+1)	高齢化率…29.97%	
【本町】	男…968人 (-14)	計	女…1,065人 (-8)
2,033人 (-22)	世帯数…871 (-4)	高齢化率…31.67%	
【佐伊津】	男…1,671人 (-14)	計	女…1,947人 (-12)
3,618人 (-26)	世帯数…1,427 (+2)	高齢化率…30.26%	
【宮地岳】	男…322人 (-9)	計	女…346人 (+1)
668人 (-8)	世帯数…271 (-3)	高齢化率…42.96%	
【合計】	男…18,542人 (-12)	計	女…21,013人 (+6)
39,555人 (-6)	世帯数…15,812 (+35)	高齢化率…25.20%	

## いにしへの技術と伝統を未来に

～天草文化交流会館～

天草土人形や手まり、押し絵、バラモン風陶芸など天草の伝統工芸・民芸の体験と技術の伝承を目的に旧天草教育会館を改修して開館した同館。昭和初期の貴重な建物として国の登録有形文化財にも登録されています。観覧の空間を覗いてみられるはいかがですか。



【施設の概要】▶休館日 月曜日(祝日の場合は会館) 祝日の翌日、12/29～1/3  
 ▶開館時間 午前9時～午後5時  
 ▶入館料 無料  
 ▶問合せ先 ☎27-5665

## お知らせ

▼日本の伝統文化に親しんでいただこうと年末に企画した、わら草履やしめ縄、干支の製作体験も好評でした。



## 本渡まちづくり発表会

講師 (農家レストラン「ひまわり亭」代表)  
本田 節氏  
日時 平成21年3月5日(木)  
午後7時開会(受付 午後6時30分)  
場所 天草市民センター(2階 大会議室)

入場無料

どなたでも参加できます。



本渡まちづくり協議会では、本年度モデル事業に取り組んだ地区振興会(4地区)の活動事例発表会を開催します。

当日は、農家レストラン「ひまわり亭」代表の本田節氏(火の国未来づくりネットワーク代表)をお迎えし講演会も予定しています。

「待ってました定年! 60歳新入社員、生涯現役」をスローガンに各地を飛び回る本田氏の熱い話をお聞きになりませんか。

## 編集・発行 本渡まちづくり協議会

【事務局】  
 天草市企画部地域振興課内  
 (コミュニティ推進係)  
 〒863-8631  
 天草市東浜町8-1  
 TEL 0969-23-1111  
 FAX 0969-24-3501

「皆さんは12月31日の夕陽に向かって、一年間ありがとうの気持ちを含めて手をあわせていただきますか?」元旦のキレイな朝日に向かって、欲張りすぎるほどの願いを込め手をあわせませよ。そして、「よし、今年も一年頑張るぞ!」と新たな一年が始まったのではないのでしょうか。▼私事ながら、今年(も)ダイエットを目標にしました。健康が第一ですからね。今年こそは脱メタボを目指して頑張つて、周囲の人から「おっ!」と言われたらいいものです。

▼終わりをければ全てよし!!とあるように、今年の大晦日、無事過ごせたことに感謝して、笑顔で夕陽にお礼が言えるような一年にしたいと思えます。皆さんにとっても素敵な一年になりますように。

## 編集後記

天草宝島マップづくり  
講演会を開催。

## 天草宝島マップ マップづくりが大詰め



▼自分たちの地域の資源をみんなで出し合い整理をしました。



▼まち歩きを行うことで地域の資源の再確認を行いました。



▼地域の資源を歩いてまわることで新たな発見があります。

天草市全体的に取り組みされているマップづくり。そのなかで本渡まちづくり協議会のモデル事業として、志柿地区、下浦地区、佐伊津地区の3地区、天草市のまちづくりモデル支援事業を活用し本渡南・北地区がマップを作成中で、これで本渡地区の宝島マップが全て完成することになります。



地区振興会の枠を越えた共同事業として展開している「本渡シティーズリズム事業」では、マップの完成に向け最終確認に入っています。これまで、幾度となく会議を重ねながら、散策ルートの見直しやマップの校正について協議してきました。

昨年、11月には「熊本さるく」のコースを実体験し、熊本城のボランティアガイドの話聞くなどの研修も行いました。

2月にはマップも完成する予定で、「完成記念ウォークラリー大会」も計画されています。早春の本渡中心部をマップ片手に、まち歩きして楽しんでみてはいかがでしょうか。

志柿・下浦・佐伊津の3地区では、

熊本大学の畑中寛氏にご協力をいただきながら進めています。7月に「天草宝島マップ」づくり講演会、8月には地域資源の抽出のための3地区合同でワークショップを開催。

9月からそれぞれの地区でタウンウォッチング（実際に地域資源を見て回る）を行い、1月にはマップの内容を検討するワークショップを行うなど大詰めを迎えているところです。

今年度の5地区と併せて、これで本渡地区内10地区のマップが完成する予定ですが、今後はこのマップをいかに活用するかが課題です。ボランティアガイドの育成やマップを活用した地域づくりを、今後も地域の皆さんと一緒に取り組んでいきます。



▼熊本城内での説明の様子。本事業では今後、ボランティアガイドの育成に取り組む予定です。



▼熊本さるくでは、ボランティアガイドの方による説明があります。



▼本渡シティーズリズム事業では視察研修として「熊本さるく」を体験しました。

## 日本の宝島“天草”づくり講演会

天草市では、市民と行政の協働によるまちづくりの推進と自立した住民自治体制の確立を図ることを目的に、講演会が開催されます。

### 講演会開催のお知らせ

平成21年  
**2月22日**  
(日)  
午後2時から  
(午後1時30分開場)

天草市民センター  
ホール

入場無料

講師  
熊本大学教育学部  
教授 古賀倫嗣氏



まちづくりについて  
いっしょに考えてみませんか。  
みなさんのご参加をお待ちしています。

## 『日本の宝島“天草”のまちづくり検証』

天草市誕生から3年を経て



「みなさんもいっしょに汗をかきましょうや！」と語る辻駒会長

『まちづくり講演会』を開催！

7月31日(木)、天草市民センターにおいて「日本の宝島“天草”づくり講演会」が開催され、当日は市内全域から約300名の方が参加されました。

講演会では、広島県川根振興協議会長の辻駒健二氏が「誇りと夢のもてる地域を目指す」と題し、これまで14年間自ら取り組んできた活動など経験を通して、「誰かがやってくれるのではなく、自分がやるということが大切。やらされる立場では喜びは味わえないし、感動もありません。」「いろいろな課題があると思いますが、今住んでいる人が、どうしたらいいかということを考え、広域合併してダメだと言うのではなく、皆さん方一人ひとりが汗をかくていくような地域づくりをやりましょう。」などと話されました。

### 『島民の願いを込めて』

～早期実現の看板が完成しました～

「熊本天草幹線道路」及び「第二天草瀬戸大橋」の早期実現を求める島民集会の開催にあたり、ご協力いただいた募金を利用して「早期実現を求める看板」が完成しました。設置されたのは、本渡環境衛生センター入り口と中央保健福祉センターの2箇所です。

今後も早期実現に向けて、ご協力をよろしくお願い致します。



中央保健福祉センター



本渡環境衛生センター入り口

# 「視察研修レポート」

振興会などでは、地域の実情に合った先進地視察を実施されます。その報告としてご紹介いたします。

## 南

本渡南地区振興会では、コミュニティ活動を積極的に進めている先進地の地域づくり団体と交流することを目的に実施しました。  
参加者 地区振興会役員 計12名

**○大分県玖珠町 玖珠自治会館**  
玖珠町では、平成18年度に地区公民館の機能を廃止、自治会館として位置づけをされ管理・運営をコミュニティ運営協議会に委託されています。公民館を廃止した理由としては、職員数削減のためではなく、コミュニティビジネスなどまちづくり活動がしやすいようにとの判断で実施したとのことでした。  
**○福岡県宗像市 コミュニティ・センター東郷会館**  
宗像市は、『市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例』を市民手作りで制定するなど積極的にコミュニティ活動に取り組んでおられました。「より身近な地域のまちづくりを地域住民が主体的に行えるよう」にコミュニティづくりを進めておられ、コミュニティセンターは活発で着実に自分たちの手によるまちづくりが成功しているように感じました。



## 北

本渡北地区長会では、北地区の諸問題の解決に向け、先進地の状況を視察することで今後のまちづくりに役立てることを目的に実施しました。  
参加者 北地区長13名、館長、主事 計15名

**○福岡県三浦郡大木町 おおき循環センターくるるん**  
おおき循環センターは従来型のごみ処理施設とは違い、地域住民との協働で、バイオマス資源として液肥や電力・温水として循環利用しています。行政と住民の協働の成果として、町全体の燃やすごみが昨年度の1年間で44%削減。ごみ問題で苦慮されている各区長さんとも協働の重要性について再認識されました。  
**○福岡県福津市 津屋崎地域づくり推進協議会**  
「津屋崎地域の郷づくり」では、平成17、18年度に行政区長、各種団体の代表者、公募による参加者などでワークショップを計11回行い、「津屋崎地域づくり計画」を策定、この計画を基に地域のまちづくりを進められているとのことでした。来年度に「地区振興計画書」を策定するうえで、大変参考となる有意義な研修でした。



## 下浦

行政区長としての資質を高め、また見聞を広くすることにより、これからのまちづくりに役立てようと、先進地視察研修を行いました。  
参加者 下浦町区長13名、館長、主事 計15名



**○人吉市「鍛冶屋町通り町並み保存と活性化を計る会」**  
ここは歴史的街並みである鍛冶屋町通りの建築物を保存し、街並みを守り、職人町の伝承を通し活気のあるまちづくりを進めているところでした。  
**○氷川町「まちづくり情報銀行」**  
まちづくり情報銀行では、町民主役のまちづくりについて説明を受けました。現行の法律では、地域の特性に応じたまちづくりが難しく、法律を補完して、その地域らしい柔軟な対応のためのルール（条例）を策定したところでした。両日の研修により、まず最初の一步として区長さんたちへの住民自治とは？の意識付けとなり、まちづくりへの意識の高揚に繋がるような有意義な研修となったのではないのでしょうか。



### 特集

# おらが主役のまちづくり

「ずっと住みたい楠浦づくり」を目指して

### 検討協議会の設立

平成19・20年度に本渡まちづくりモデル事業に取り組みにあたり、地区振興会役員のほか楠浦在住の市職員34名で検討協議会を設立。魅力と活力あるまちづくりに向けて全世帯を対象にアンケートを行い、楠浦町の現状・課題を把握して、まちづくり活動の基本構想を策定することにしました。検討協議会では、3回のワークショップを含めた協議を5回、先進地視察研修、地域資源の現地視察を実施。併せて、このモデル事業のほか、合併市町村地域資源活用事業（地域資源マップづくり）にも取り組む、地域資源を町民全員で共有するいい機会になったようです。

今回は、平成19年度から本渡まちづくり協議会のモデル事業を展開している「楠浦地区振興会」をご紹介します。



アンケートを参考にワークショップを開催

### テーマの決定

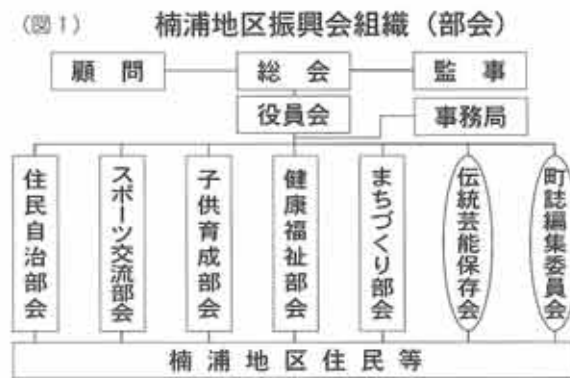
まちづくり活動の基本構想の策定にあたっては、産業・地域福祉・環境分野など5つの分野ごとに、町の問題を解決するために、今後の活動を整理し、それらの活動を踏まえ、「ずっと住みたい楠浦づくり」をテーマにまちづくりを目指すことになりました。2年目には、「ずっと住みたい

楠浦づくり」をテーマに具体的に実現していくため、地区振興会の組織をまちづくり部会、健康福祉部会など5部会に改編（図1）。部会型の組織に移行し活動の活性化を図ることになりました。特に、「安全で快適な環境を創造するまちづくり」と「地元産業の振興を促進する活力あるまちづくり」を基本に展開する方向で決まりました。



五色島

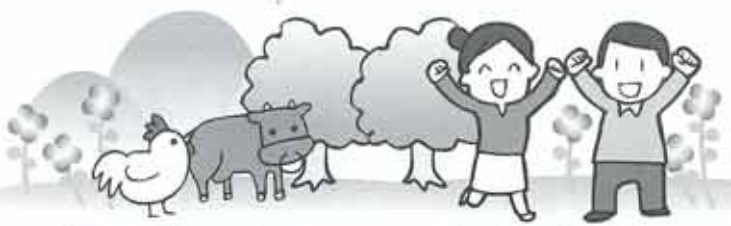
楠浦新田古墳



設置された観光案内板の前に。

**早速、活動開始！**  
まちづくり部会では、これまで誰もが草木が覆い茂って立ち寄ることができなかった市指定史跡の「楠浦新田古墳」、無人島でキャンプ場があった「五色島」を延べ70名で樹木の伐採や整地作業を実施したり、町の入り口の2箇所に観光案内板を設置するなど、一つの目標に協力してやり遂げることで、参加者や住民には協働意識が芽生え始めたそうです。健康福祉部会では、少子高齢化・核家族化・地域の結びつきや人間関係の希薄化の時代の中で、一人暮らしの高齢

者等の皆さんに住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていただけるようにと、地域住民がお互いに協力し、支えあう小地域福祉ネットワークづくりに取り組まれています。  
他の部会でも、いま町で必要としている新たな事業や現在継続中の事業の見直しを積極的に取り組んでいる状況だそうです。  
今後の課題として、地元産品を活かした物品販売などを行ない、自主自立できるシステムづくりを目指し、「ずっと住みたい楠浦づくり」を進めていけるそうです。



# ほんどの振興会は「元気」バイ!



ほんどの振興会を  
ご紹介します



## 石工・ぼんかんの里下浦町ふるさと祭り

下浦地区振興会 会長 金子 一幸

下浦町では、住民自治による町の発展を目指し、町の活性化と町民の融和を図り「石工・ぼんかんの里ふるさと祭り」を開催します。毎年、豪華景品が当たる“もち投げ”など、その他たくさんのイベント、出店を用意して参加された皆さんに楽しんでいただいています。

ぜひ、皆さん、下浦町ふるさと祭りに一度足を運んでみてください。  
【平成21年2月1日(日) 午前9時から 下浦運動広場(旧)下浦中跡】

バザーも好評でした(昨年の様子)  
～出あう・ふれあう・支えあう故郷づくり～

## 楠浦町ふれあいフェスタ2008

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

11月30日(日)、楠浦町公民館において、恒例の楠浦町ふれあいフェスティバルが開催され、町内外から約500人の人出で賑わいました。

午前、堀切り唄保存会の皆さんによる堀切り唄、琉球國祭り太鼓、三味線、舞踊、地元小学校の演奏、故郷再発見クイズ大会などを催し、午後からは、町民が大正琴、カラオケ、舞踊、フラダンスの日頃の練習の成果を披露。終日、天草アーカイブズ展や町民の方の芸術作品の展示もありました。最後には、鯛が100匹当たる抽選会で締めくくりました。



ふれあいフェスタ



熱気で溢れるバザー会場

## “本町ふるさとまつり”

本町地区振興会 会長 松村 悟

11月23日(日)に第19回本町ふるさとまつりを開催しました。まつり後半には残念ながら雨が降ってきましたが、町内外から多数ご来場いただき盛会のうちに終わることができ、バザーの売り上げは良かったようです。また、演芸の部では、大正琴、歌、合唱、日舞、フラダンス、太鼓演奏、獅子舞、防火はしごなど、観客と一体となったステージに大いに盛り上がりました。

## スポーツフェスタINさいつ

佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊裕

佐伊津地区振興会では、スポーツを通じて健康維持増進に努め、5月に「スポーツフェスタINさいつ」を10月(第1日曜日)に町民体育祭、1月(最終日曜日)に町内一周駅伝大会を実施しています。

スポーツフェスタでは、これまで年間の中で、各々実施していた競技を町民が一同に会して実施することにより、より一層親睦を深めるために開催しており、今回で11回を数えるまでになりました。



開会式での選手宣誓

## 大盛況のふるさと健康まつり

宮地岳地区振興会 会長 龍石 昭好

11月30日(日)に宮地岳小学校で「ふるさと健康まつり」を開催しました。午前中は宮地岳小学校の児童による「学習発表会」、午後からは、「ゲストステージ」として、牛深のおやじバンドのコンサートや町民、保育園児による「町民オンステージ」などが行われました。

その他にも「小学校作品展」や「町民文化展」、「バザー・特産品販売」なども行われ、町内外から多数の方々に来場いただきました。



小学校の学習発表会の様子

## 年に一度の愛地区(郷)貢献

本波南地区振興会 会長 海江田 雅靖

本波南地区振興会では、年に一度、地区住民が無理なく実施できる地区貢献のアイデアを募集しました。多数のアイデアが集まり、先日その集まったアイデアを基にワークショップを開催しました。

今後取り組んでみたい行動を選び、それを選んだ理由や、地区がどのように変わるのかみんなで考えました。今後、将来ビジョン策定作業をすすめ、みんなで色々な夢を語り合い、地域の将来像を策定する予定です。



ワークショップ風景

## 地域再発見! 北地区ウォークラリー

本波北地区振興会 会長 中元 利継

第1回となる北地区ウォークラリーを、11月2日(日)に北小グラウンドをスタートとゴールとする約6.5kmのコースで開催しました。

当日は、親子連れを中心に174人の参加があり、チェックポイントがある明徳寺や延慶寺、本戸馬場八幡宮、広瀬公園など秋空の下、北地区を楽しく歩いて地元の再発見と体力づくりを図りました。



最後の抽選会は、大いに盛り上がりました!

## 第3回かめば夏祭り盛大に開催

～ステージショーに大抽選会～ 亀場地区振興会 会長 高村 巧

7月26日(土)夕、町民の大交流の場として「親睦と融和」を図り、町の活性化と未来を担う青少年の健全育成のため第3回かめば夏祭り(地域づくり部会主催)が亀場運動広場一帯で開催され、猛暑の中、約1,500人の人出でにぎわいました。

祭りにはステージの部で市職員による天草ハイヤ踊り、祭りの最後には豪華賞品が当たる大抽選会、その後花火を打ち上げ盛況のうちに終演となりました。



会場を盛り上げた市役所ハイヤ部

## 活力ある地域づくり ～柕宇土ふるさとまつり～

柕宇土地区振興会 会長 富永 勤

11月23日、「柕宇土ふるさとまつり」を柕宇土町公民館を会場に開催しました。これは、地域農産物や地域文化の振興を目的に開催しているもので、当日は小雨の中約700人が訪れました。

同まつりでは農産物品評会作品の展示即売会やバザーのほか、演芸発表や文化作品展も行なわれ大盛況。締め餅投げはいちばんの盛り上がりでした。



ふるさとまつりの最後を飾る餅投げ

## 笑顔あふれる『交流会・ふれあい学習会』

志柿地区振興会 会長 右山 拓士

7月20日(日)、21日(月)に志柿小、瀬戸小の子ども達を対象に交流会(お泊まり会)及び体験ふれあい学習会を開催。将来、同じ中学校に入学する子ども達がキャンプ等を通じて親睦を図るための事業として実施しました。本年度のふれあい学習会には、未就学児～小学校3年生も参加。瀬戸の砂浜では、両校区混合で班分けをして、宝物探し・一輪車リレーなどを行い、服が濡れるのも気にせず笑顔いっぱいを楽しみ、友達という“宝物”を探しあてたようでした。



一輪車リレーの様子